

U30復興デザインコンペ2024

# 孤立する都市

二〇二四年の元日に起こった能登半島地震は、建物やインフラへの物的な被害の甚大さのみならず、交通やライフラインの断絶が重大な影響を与えた災害であったといえます。発災直後には人・物資の行き来ができない集落がみられ、支援者やボランティアの来着には遅れが生じました。また、交通が復旧した後は広域的な二次避難が進められ、各地からの支援が機能した一方で、能登への関心はこれから世間でどれだけ継続されていくでしょうか？

能登半島地震は、被災地が孤立しうるものであることを我々に痛感させました。視点を改めてみれば、今年も世界各地で大規模な自然災害が発生し、昨年以来継続する紛争・戦争もあります。そこでは被災地への共感が必ずしも持たれない、持続しない様を我々は目の当たりにしてきました。

今年のU30復興デザインコンペでは、都市・集落・地域の復興や事前復興を、「孤立」をキーワードにして提案してください。公共投資の縮小が見込まれるなかでの「自立」を可能とする技術的、空間的な工夫でも、「孤立」やその対となる「共感」や「共同」、「連携」についての問題提起でもかまいません。交感が都市の要件であるとするれば、「孤立」は現在における居住の都市性に再考を迫るはずで、さまざまな分野からのアイデアを募集します。

## 審査委員

乾 久美子（審査委員長） 浅子 佳英 岡部 明子 上條 慎司 高橋 一平  
内藤 廣 羽藤 英二

## 応募資格

30歳以下（2024年3月末時点、ライフイベントによる活動休止期間を勘案する）の学生、社会人。個人・グループは問わない。1人につき1点の応募とする。

## 賞

最優秀賞1点 優秀賞2点程度

## 提出物

ポスター2枚 PDFファイル、A3版横使い。ポスターには所属・氏名を記載しないこと。

## 応募方法

フォームから提出すること（Googleアカウントが必要）。

<https://forms.gle/wwXt52A9LikDsJT46>

フォームを利用できない場合は、応募者全員の氏名、所属、年齢、代表者のメールアドレスを明記し、メールで提出すること。

提出先：nakao@bin.t.u-tokyo.ac.jp（東京大学・中尾俊介）

## スケジュール

9月30日 応募締め切り

10月末頃 一次審査結果発表 審査結果はメールで通知する。

11月30日 公開二次審査 復興デザイン会議全国大会会場にて（東京大学）

## 主催

復興デザイン会議